

回	開催期間	会長	所属	開催地(都市、会場)	学会のテーマ
70	1998年6月18～20日	丸山 圭一	国立がんセンター中央病院外科	東京、北とぴあ	
71	1999年6月23～25日	中島 聰總	癌研究会附属病院外科	東京、Tokyo Big Sight	
72	2000年2月17～19日	渡辺 英伸	新潟大学第一病理	新潟、新潟県民会館	
73	2001年3月1～3日	三輪 晃一	金沢大学第二外科	金沢、ホテル日航金沢 他	
74	2002年2月7～9日	吉野 肇一	慶應義塾大学看護医療学部	東京、東京国際フォーラム	胃癌をワイドに攻めよう、胃癌学会から胃学会へ
75	2003年2月6～8日	加藤 洋	(財)癌研究会癌研究所病理部	東京、都市センターホテル	反省からの飛躍—よりよき医療・研究を目指して
76	2004年3月4～6日	貝原 信明	鳥取大学医学部病態制御外科	米子、米子コンベンションセンター(ビッグシップ)	アジアとの連帯
77	2005年5月7～8日	西元寺 克禮	北里大学医学部消化器内科	横浜、パシフィコ横浜会議センター	胃癌の制圧・日本の役割
78	2006年3月9～11日	古河 洋	市立堺病院	大阪、グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)	胃癌診療のエビデンスを求めて
79	2007年3月1～3日	山村 義孝	愛知県がんセンター中央病院消化器外科	名古屋、名古屋国際会議場	胃癌診療—過去から現在そして未来へ
80	2008年2月27～29日	下田 忠和	国立がんセンター中央病院臨床検査部病理	横浜、パシフィコ横浜会議センター	胃癌診療の均てん化を目指して
81	2009年3月4～6日	山口 俊晴	癌研有明病院消化器センター	東京、東京ファッションタウンTFTホール	胃癌制圧への道筋を探る—現状と夢と
82	2010年3月3～5日	梨本 篤	新潟県立がんセンター新潟病院外科	新潟、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター	温故知新
83	2011年3月3～5日	坂田 優	三沢市立三沢病院	三沢、古牧温泉青森屋	創造、ここからの展開
84	2012年2月8～10日	辻仲 利政	国立病院機構大阪医療センター外科	大阪、グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)	変革(innovation)、連携(cooperation)、発信(transmission)
85	2013年2月27～29日	平川 弘聖	大阪市立大学大学院腫瘍外科	大阪、グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)	融合と未来—Fusion and Future—
86	2014年3月20～22日	小泉 和三郎	北里大学医学部消化器内科学	横浜、パシフィコ横浜会議センター	(未定)